



「環境」にかかわる「理念」の研究

こんな問題に取り組んでいます

自然再生と地域再生の両立、持続可能な社会づくりなど、「環境」にかかわる困難な問題が山積しています。その問題を本質的な形で解決するために、「理念」の問題を掘り下げ、地域での社会調査を踏まえた、理論的・実証的研究を行っています。

こんなことがわかってきました

自然的環境の保全のためにも、人間の自然に対する精神的なかわりのあり方や社会的制度など、自然にかかわる人間の社会的な研究が必要です。開発と保護などの対立構造も、地域社会の生活や経済的再生の問題として解決することが可能なのです。

研究の成果はこんな分野に活かされます

人間と自然、開発と保護、都市と農村、経済性と精神性、という、対立的な二分法を越えた新しい理念を、現場で生み出していき、実践的な新しい研究領域を開拓しています。問題解決のための方法論や、合意形成の現場でのファシリテーション的な役割など。

関連展示: 鬼頭研究室(622号室) 【環境倫理学研究室】

連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻
鬼頭秀一<kitoh@k.u-tokyo.ac.jp>

